

燃ゆる感動かごしま国体デモンストレーションスポーツ ランニングバイク大会に参加してみませんか



6月25日(日)開催されたランニングバイク大会の様子

来る令和5年8月13日(日)に奄美フォレストポリス多目的広場においてランニングバイク大会が開催されます。参加資格及び申込期日等は下記のとおりです。

1. 参加資格 鹿児島県内在住者
2. 申込期日 令和5年7月10日(月)まで
3. 申込方法 同意書を持参又は郵送及びFAXやメールでの申込み(HPIに掲載)
4. 申込先 大和村教育委員会
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100番地
TEL 0997-57-2154 FAX 0997-57-2271
メール kyoiku@vill.yamato.lg.jp
5. 参加料 1人 1,000円(参加料、保険料等含む)

7月14日は県民の日です

鹿児島県では、7月14日を「県民の日」と定め「県民が郷土の歴史や文化を見つめ直し、郷土に対する理解と関心を深め、ふるさとを愛する心を育むことにより、自信と誇りをもって、より豊かな鹿児島県を築き上げることを期する日」です。この機会に大和村の歴史や文化に触れ、魅力を再発見してみませんか。



(しげき大和中校長の大和見聞録)

朝仁にある貝塚

縄文時代(約13000年前～3000年前)の人々が食べた動物の骨や貝殻や不要物などを捨てた場所は貝塚と呼ばれ、全国で沢山の貝塚が発掘されています。大和村では現在貝塚は見つかっていませんが、大和村から一番近い所にある貝塚は奄美市の朝仁町前間にある朝仁貝塚(写真1)です。ただしこれは縄文時代のものではなく、中世(約800年前)から近世(約150年前)にかけてのものです。場所は朝仁のタイヨーの裏の道を長浜方面に300m程行くと道路沿いにあります。すぐそばに看板(写真2)があり、誰でも見る事ができます。昭和45年に奄美市指定文化財に指定され、平成16年に発掘調査が行われました。

この貝塚を見ると、奄美の人は海の恵みに依存した生活を随分長い間送ってきたことがわかります。また貝塚には陶磁器の破片も多く含まれているのが特徴で、調べてみると奄美の人々がいつの時代にどここの産地の茶碗や皿を使っていたのかがわかります。私が確認したなかでは江戸時代後半から明治の時期に流通していた有田焼(佐賀県)や薩摩焼が多いようでした。中でも一番古いものは約800年前に中国から輸入された青磁の碗がありました(写真3)。これは宇検村に倉木崎海底遺跡という県内では珍しい海底から遺物が発見されている遺跡がありますが、ここで多く出てくる中国の陶磁器とほぼ同じ時代のものです。青磁は当時は比較的高級品だったので、この辺りの身分の高い人が使っていたのかもしれません。

この他に有名なものとして宇宿貝塚(奄美市笠利町宇宿)があります。ここは昭和61年に奄美地区で初めて国指定の史跡となっています。縄文時代の竪穴住居跡、土器、石器や中世の墓跡と人骨が出土しています。現在は建物の中にそのまま保存されており、見学ができます(入館料小中学生50円、大人200円)。空港の北約1.5kmの県道沿いにあります。興味のあられる方は是非ご覧になってください。



写真 1



写真 2



写真 3